

みなさまが心から元気になりますように

2019.2

wish

足利富士見台病院 広報誌 VOL. 38

CONTENTS

- 足利大学公開講座
- 足の爪トラブルを治して快適な生活を!
- 第6回看護研究発表会
- 救急時対応訓練・避難訓練を実施しました
- 救命活動
- たかろばカフェ（認知症カフェ）開催



Ashikaga
Fujimidai
Hospital



医療法人根岸会
足利富士見台病院

〒326-0845 栃木県足利市大前町1272番地
Tel.0284(62)2448 Fax.0284(62)9608
<http://www.negishikai.com>

足利大学 公開講座



足利市民の健康長寿を目指した生活習慣病予防をテーマとして足利大学主催 足利市・足利市教育委員会後援で公開講座が開催されました。

平成30年10月12日(金)～11月16日(金)まで行われた全6回のうち、11月2日(金)に実施された第4回で 病院長・認知症疾患医療センター長 根岸が「認知症の基本的知識」の講演を行いました。



「認知症の基本的知識」

- 1) 生活習慣病と認知症予防
- 2) 認知症の基本的知識
- 3) 認知症の診断
- 4) 認知症の治療
- 5) 最近の認知症研究
- 6) 足利富士見台病院
認知症疾患医療センターの概要



会場の足利大学 本城キャンパスの月見ヶ丘ホールには一般公募により約150名の方が参加され、午後6時の開講より90分間の講演を、メモをとりながら熱心に聴いておられました。

足の爪のトラブルを治して快適な生活を!

私たちの足には、立っているときや歩いているときに全体重がかかっています。地面からの力に対応するためには爪は重要な役割を担っています。元気に歩ける生活を続けられるように爪のトラブルを予防する必要があります。

爪の役割

- ・指を保護する
- ・指の力を強くする
- ・指の感覚を敏感にする
- ・指の動きのバランスをとる

足に爪があることで、歩くときにつま先に力が入り、バランスを崩さずに歩くことができます。手も爪があることで、指先に力が入り、物をつかむような作業ができます。



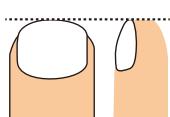
爪のトラブルは歩行に影響します!

ひこうそう 肥厚爪

肥厚爪とは爪が厚くなった状態のことをいいます。足に合わない靴を履き続けること等が原因となるため、足の爪にみられやすい病気です。爪の乾燥や深爪、爪水虫も原因となります。

横にまっすぐに切る
指の先端と同じか
やや長め
(1mm以内)に切る。
角は少し落とす。

深爪



マッサージをしながら、
爪全体にクリームを塗り
保湿しましょう。

保湿

※浴室などで足が濡れると、
滑りやすくなるので注意しましょう。

皮膚科で治療を受けて
治しましょう!

爪水虫は、かゆみが
ありません。
特徴は、爪が白～黄色に
濁って、厚くなります。

爪水虫 (爪白せん)

足のサイズ、横幅、甲の高さなどが
合っているものを選びましょう。

【ポイント】

- ・足先にゆとりがある
- ・かかと周りが合っている
- ・甲周りが合っている
- ・指のつけ根が曲がりやすい

靴

爪を 整える

- デコボコしている爪は、爪がぐらつかないように指で固定しながら、一定の方向にヤスリをかけます。**削りすぎは禁物!**爪の下の軟らかい皮膚が盛り上がっている場合は、出血することがあります。
- 爪の先はニッパー型爪切りで、少しづつ切れます。

第6回 看護研究発表会

平成30年9月7日、多目的室に於いて第6回 看護研究会を開催しました。

看護の質向上を目標に、業務と並行して研究に取り組み、当日は3演題の発表がありました。



第1席
3階病棟

認知症
高齢者の
BPSDへの
対応について

阿左美・須永・萩原

第2席
4階病棟

スライディング
ボードを用いた患者様の
移動・移乗介助における
看護者の疼痛軽減への効果

篠原・田中・田中

第3席
5階病棟

家族との話し合いにより
その人らしさを
看護に取り入れることを
目指した終末期看護

幸松・関・黒田・志賀

上記3演題から本年の最優秀賞（院長賞）は5階病棟の「家族との話し合いによりその人らしさを看護に取り入れることを目指した終末期看護」に決定しました。

5階病棟受賞スタッフ

看護研究を通して、日々の看護を振り返り、見直すことが出来ました。学び得たことを、今後の看護に活かし、より良い看護の提供ができるよう努力していくたいと思います。

病棟スタッフをはじめ、ご協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。



黒田「看護研究を通して、学び得たことを日々の看護に活かしていくよう努力していきます。」

関 「今回優勝できたのは、病棟スタッフの協力のおかげです。今後もより良い看護の提供を目指し努力していきます。」

幸松「研究を通して、普段の看護を大きく見直すことができました。ご協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。」

志賀「今回初めて看護研究に参加させていただきたくさんのが学べました。ありがとうございました。」

緊急時対応訓練・避難訓練を実施しました



当院では、救急対応のため院内で定期的にAEDを使用した研修会を実施しています。

AED設置を知らせるマークを目にする機会は多いのではないかでしょうか。AEDとは自動体外式除細動器のことを言います。

心停止には、電気ショックの適応となる「心室細動」と呼ばれる心臓がこまかくふるえることによって、血液を送り出せなくなる不整脈によるものと、適応でないものとがあります。心停止が起こった際に心臓の状態をAEDが判断して、自動的に電気ショックが必要かどうかを教えてくれます。

電気ショックをすることで、心室細動を止めて正しい心臓のリズムに戻します。(日本救急医学会HPより)

当院ではAEDを病院内各フロアに設置しています。

平成30年10月31日の研修会では実際の使用を想定した研修会を病棟内で実施しました。

医療従事者以外の方でも使用できるように使用手順のガイド音声が流れ、緊迫した雰囲気のなか患者様も真剣な表情で見学されていました。

当院看護師が救命活動に協力

当院看護師の幸松が私用での外出中にAEDを使用する場面に遭遇し、たまたま居合わせた医師とともに、救命活動に参加しました。

その後は、救急車の中で気管挿管を介助し、医師とともにヘリポートまで付き添い、ドクターヘリに引き継ぎを行いました。

救命活動への協力に対し院内で表彰を行いました。



たからばカフェ (認知症カフェ)開催

平成30年9月8日、足利市民プラザにて

「たからばカフェ(認知症カフェ)」が昨年度に引き続き開催されました。

当院も認知症疾患医療センターとして昨年度に続き“もの忘れテストコーナー”を担当させていただき、31名の方が積極的にテストを受けられました。



そのほか、認知症に関する情報展示、認知症予防コーナーでは「福祉ネイル」「ものづくり」「折り紙教室」が同時に行われました。予防イベントでは音楽療法士による歌を交えた体操が行われ、多くの方が一生懸命取り組まれていました。また若年性認知症家族の会による講演も行われました。



ここ数年、認知症に対して関心を持たれている方が増えていると、たからばカフェに参加しながら感じていましたが、今回は特に“認知症の予防”に関心を持たれているという印象を受けました。

医療機関及び施設の方へ

地域連携の窓口として
「地域連携課」をぜひご利用ください。

地域連携課

地域連携課ではご紹介いただいた患者様の診療がスムーズに行われるよう、事前予約受付とカルテ作成等の準備や紹介患者様の報告書・診療情報提供書等の発送、紹介元の先生方からの患者様紹介に関するお問い合わせの対応などを行っております。

診療および家族相談は予約制となっております

■地域連携課 TEL:0284-62-2448(代表)
FAX:0284-62-9608

■電話・FAX受付時間 月曜日～土曜日…8:30～17:00

当院、ホームページより当院紹介状(診療情報提供書)がダウンロードできますので、ご利用ください。

<http://www.negishikai.com/top/kikan.html>

医療福祉のご相談

医療福祉に関する相談をソーシャルワーカーが受けております。

通院されている患者様とそのご家族様がご利用になれます。

ご相談を希望される方は、スタッフにお声掛けいただきか、お電話にてご連絡ください。

相談は原則として、予約制とさせていただきます。ご相談になった個人情報は厳守いたします。

編集後記

様々な出来事がありましたが、無事に一年を過ごせましたのも皆様の多大なご支援のお陰と感謝しております。次年度も引き続き、当院の様子を本誌にてお伝えできればと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。(菊地)





Ashikaga
Fujimidai
Hospital

医療法人 根岸会 足利富士見台病院

〒326-0845 栃木県足利市大前町1272
TEL.0284(62)2448 FAX.0284(62)9608
<http://www.negishikai.com>

足利富士見台病院「理念」

- *私達は、患者様のこころと体のお悩みに寄り添い、安心して治療に専念出来る環境の中で、専門医療と、こころのかよいあう看護の提供をめざします。
- *患者様のご家族様を支えてまいります。
- *地域の皆様とのふれあいを通して、病気の予防に努めてまいります。

上記理念に基づいて以下の行動規範をもうけております。

P-medical

私たちは常に患者様を優先します。全ては患者様 (Patient) のためにある精神医療をめざすという意味でPをキーワードにおいています。

PEACE

こころ安らぐ治療空間をめざします

【place】 緑多い、癒しの環境での医療を提供します

【personal】 患者様ごとのご病状・ご要望にあわせた、治療・施設を提供します

【pastime】 レクリエーション等、楽しみの場面を提供します

PARTNER

共に歩む医療をめざします

【pang】 患者様の心の痛みを感じます

【participate】 患者様を支えるご家族様のお気持ちに配慮します

【plan】 治療の方針を患者様・ご家族様・他機関の皆様とともに考えます

PROTECT

患者様をまもるためにつとめます

【prejudice】 病気への偏見から患者様を守るようつとめます

【privacy】 患者様のプライバシーを守るようつとめます

【prevent】 地域の皆様の病気予防につとめます

PRIDE

患者様によりよい医療を提供するために誇りをもってとりくみます

【professional】 専門のスタッフが高水準の治療の提供に努めます

【positive】 さらなる向上をめざして学び、努力し続けます

【power】 元気に明るく、アットホームな治療空間の提供に努めます

足利富士見台病院「患者様の権利」

1. 患者様は、個人として人格を尊重され、適切な医療を公平に受ける権利があります。(人権尊重)
2. 患者様は、診療に関して十分な説明と情報提供を受ける権利があります。(説明と同意、インフォームド・コンセント)
3. 患者様は、治療方法などを選択する権利があります。(治療の選択・同意・拒否)
4. 患者様は、個人の情報が守られる権利があります。(秘密保持)
5. 患者様は、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。(情報開示)
6. 患者様は、他の医療機関からの意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
7. 患者様は、自己決定できるように援助を受ける権利があります。(自己決定権の保障)
8. 患者様は、当院の提供するサービスに意見を述べ、改善に参加する権利があります。(苦情や意見の申し立て)
9. 患者様は、精神保健福祉法等の法律に基づいた適正な処遇が保証される権利があります。(処遇)

認知症疾患医療センター ☎ 0284-62-7775 ストレスケアセンター

診療科目

| 心療内科 | 内科 | 老人内科 | 精神科 |

- 不眠や不安に関する健康相談
- ストレスに関する健康相談(職場・家庭・育児・学校・仕事など)
- 老年期(物忘れ)に関する健康相談

受付時間

【午前の部】
8:30～11:30

【午後の部】
13:30～15:30

診察開始時間

【午前の部】 9:00～
【午後の部】 14:00～

(休診)
土曜午後・日曜・祝日

初診の方は、予約制となっておりますので事前に電話予約をお願い致します。

ACCESS MAP



桐生方面よりお越しの方

- 旧50号を足利方面へ進み、郵便局前看板を左折。
- 国道50号を足利方面へ進み、国道50号交差点を直進し、鹿島橋を渡り、T字路を左折し、太田桐生I.C.を右折。

大泉・館林方面よりお越しの方

- 国道122号を足利方面へ進み、郵便局前看板を右折。
- 国道50号を桐生方面へ進み、ポルボを左手に見て100m先側道に入り、交差点を右折。鹿島橋を渡り、T字路を左折し、郵便局前看板を右折。

足利・佐野方面よりお越しの方

- 旧50号を桐生方面へ進み、郵便局前看板を右折。
- 国道50号を桐生方面へ進み、ポルボを左手に見て100m先側道に入り、交差点を右折。鹿島橋を渡り、T字路を左折し、郵便局前看板を右折。

北関東自動車道でお越しの方

- 太田・桐生I.C.を足利方面に進み、国道50号交差点を直進し、鹿島橋を渡り、T字路を左折し、郵便局前看板を右折。